

プロジェクトシート

重点戦略	明日を拓く成長戦略
プロジェクト	パワーアップとちぎプロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	本県の成長を牽引し、雇用を創出する産業を振興するとともに、競争力のある中小企業の活動や農業の展開などを支援し、県内経済の活性化を図ります。
重点的取組	<ul style="list-style-type: none"> ☆本県の強みを活かした産業の振興 ☆挑戦し、成長する企業の創出 ☆戦略的な企業誘致の推進 ☆力強い農業の推進

2 成果指標等の状況

成果指標	基準 ・全国平均 ・全国順位	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	目標 H 2 7
①重点5分野の付加価値額	2兆2,811億円 (H20) 1兆7,915億円 12位	1兆8,365億円 1兆3,590億円 12位	2兆2,215億円 1兆5,713億円 10位	1兆8,721億円 1兆5,052億円※ 15位※	1兆9,174億円 1兆5,337億円 13位			2兆3,952億円
出典：経済産業省 工業統計調査 県統計課 栃木県の工業（工業統計調査結果報告書） ※総務省・経済産業省 経済センサス活動調査	達成見込							
②株式会社設立登記件数 (生産年齢人口百万人当たり)	628件 (H21) 703件 25位	628件 703件 25位	598件 698件 26位	605件 711件 28位	601件 731件 30位	652件 760件 29位		3,425件 (H23～27の累計)
出典：法務省 登記統計（民事・訟務・人権統計年報） 総務省 人口統計	達成見込	—						
③企業立地件数 (研究所を含む)	27件 (H21) 19件 13位	27件 19件 13位	28件 17件 7位	24件 19件 14位	62件 26件 5位	79件 40件 5位		225件 (H23～27の累計)
出典：経済産業省 工場立地動向調査	達成見込	—	—					

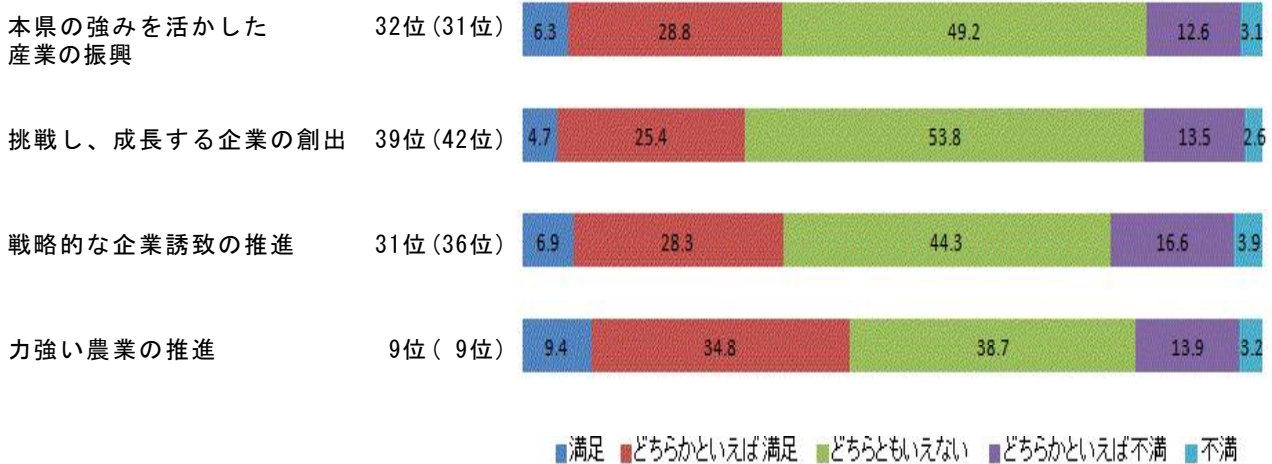
④農業産出額	2,589億円 (H21) 1,769億円 9位	2,589億円 1,769億円 9位	2,552億円 1,756億円 10位	2,659億円 1,776億円 10位	2,786億円 1,832億円 8位			2,800億円
出典：農林水産省 生産農業所得統計	達成見込	—						

(注) 目標達成見込の判断 : 概ね順調 : やや遅れている : 遅れている

【成果指標の分析】

- ① 産学官のネットワークを活用した研究開発や販路開拓の支援を行いました。世界的な景気後退や円高などにより売上が落ち込んでいるため、目標達成に向けて遅れが生じています。
- ② 創業に意欲的な取組を支援するため、とちぎ未来チャレンジファンドの活用による助成等を行ったことから、登記件数は増加しており、目標達成に向けて概ね順調ですが、全国順位が下がっています。
- ③ 優遇制度の活用や産業団地の整備とともに、企業誘致活動を積極的に行ったことから、立地件数が増加し、目標達成に向けて概ね順調です。
- ④ 先進的農業経営者の育成や円滑な就農支援等に取り組んできた中で、農業産出額が上昇しており、目標達成に向けて概ね順調です。

【平成25年度県民満足度調査結果】



※順位は、「満足」及び「どちらかといえば満足」と回答した割合をもとに順位付けした。()内は前年度の順位。

3 主な取組成果と課題

【成果】
☆本県の強みを活かした産業の振興
○中小企業の人材育成、研究開発及び販路開拓等の支援
<p>《主な取組》</p> <p>①質の高い多様な人材の育成・確保への支援 大手企業の協力による現場改善支援事業【「モノづくり改善道場」(13社24名)、「現場改善講師派遣事業」(5社)】や「光融合技術イノベーションセンター研究成果発表会」(24社52名)、「CATIA研修」(10社10名)などを実施し、生産効率の向上や高度技術者の養成を支援しました。 また、新卒者の採用支援のため、県内理工系大学等で企業概要説明会(5回延べ1,274人対象、77社参加)を開催しました。</p>

- ②中小企業の技術力・生産力の強化に向けた研究開発や新製品開発等への支援
産業技術センターと企業等の共同研究や医療機関との合同での研究部会の開催により、技術開発や製品の実用化等に向けた研究を支援しました。また、とちぎ未来チャレンジファンドを活用し、技術の高度化・新技術の開発事業に対して助成しました。(交付決定3件、11,614千円)
- ③中小企業と大手企業等のマッチングの強化による販路開拓への支援
県内外の大手企業との技術展示会や商談会を開催するなど、販路開拓の取組を支援しました。

☆挑戦し、成長する企業の創出

- 創業や新たな事業展開など意欲的な取組の支援
- 地域経済を支える中小企業等の経営力向上

《主な取組》

- ①とちぎ未来チャレンジファンドの活用等による新事業展開への支援
とちぎ未来チャレンジファンドの活用による創業や新事業展開等の支援を行ったほか、「創業希望者交流サロン」(4回延べ66名参加)や「新事業ネットワーク交流会」(3回延べ39名参加)を開催し、創業希望者の意欲醸成や異業種間のネットワーク形成の促進を図りました。
- ②小規模事業者の経営力向上への支援
経営改善相談等により経営力向上を支援する商工団体職員の研修(21名)や、商工団体が主催する経営力強化や人材育成のための研修(商工会議所3回、商工会6回開催)を助成することにより、小規模事業者の人材育成を行いました。
- ③伝統工芸品産業の競争力強化の取組への支援
益子焼、結城紬及び日光伝統工芸品について、関係者で構成する振興協議会が策定した産地振興計画に基づき、販路開拓や新商品開発、後継者育成等に係る各種事業を支援しました。

☆戦略的な企業誘致の推進

- 地域経済への波及効果が大きい企業の県内への立地促進
- 本社・研究開発機能の集積拡大

《主な取組》

- ①企業立地優遇制度を活用した戦略的な企業誘致の推進
「栃木県企業立地・集積促進補助金」、「栃木県産業定着集積促進支援補助金」及び「立地企業緊急雇用促進補助金」を活用し、企業誘致及び定着促進を図った結果、79件(261.6ha)の企業立地がありました。
- ・栃木県企業立地・集積促進補助金 交付決定12件
 - ・栃木県産業定着集積促進支援補助金 交付決定1件
 - ・立地企業緊急雇用促進補助金 交付決定1件
- ②地域金融機関やインフラ関連企業等と連携した官民一体の企業誘致活動の展開
県、県内金融機関、インフラ関連企業により構成する「とちぎ企業立地推進戦略会議」を設置し、各構成員の有する企業情報等を交換しながら効率的に企業誘致活動を行ったほか、戦略会議において合同で企業誘致を図った結果、2社の立地がありました。

- 既立地企業のさらなる定着促進

《主な取組》

- ①地域や行政と企業とのパートナーシップの確立による既立地企業の定着促進
パートナー企業となっている県内立地企業(99社)との意見交換等により、パートナーシップの確立を図ったほか、知事との意見交換や要望聴取により、企業の定着を図りました。

- 魅力ある産業団地の提供やアクセス道路の整備等による立地環境向上

《主な取組》

- ①市町村等と連携した計画的な産業団地の提供
惣社東産業団地については、2社と分譲契約が成立し、平成25年9月に分譲が完了しました。また、みぶ羽生田産業団地については、早期分譲に向けた取組として、企業へのダイレクトメールの送付や名古屋・大阪での車両広告掲示などのPR活動を実施しました。
- ②ハード・ソフト両面におけるインフラの整備確保
国道408号真岡宇都宮バイパス(国道121号から清原工業団地までの区間)の工事が平成25年12月に完成し、供用が開始されました(一部暫定2車線)。また、佐野市北部地域と佐野田沼ICとの連携強化を図るため、県道作原田沼線岩崎工区の工事が平成25年11月に完成し、供用が開始されました。併せて、当該工区の沿道に佐野AWS産業団地の造成が開始されました。

☆力強い農業の推進

- プロ農家（先進的農業経営者）の育成
- 農業内外からの人材確保や企業の参入推進

〈主な取組〉

- ①とちぎ農業ビジネススクール等によるプロ農家の育成
経営の高度化を目指す青年農業者に対して、経営者としての意識改革や経営改革プランの作成等を指導しました。また、経営発展を目指す農業者を対象に、農業経営の法人化に向けた研修会や個別啓発活動を実施したところ、農業法人が増加しました。
- ②就農セミナーや相談会の開催等による新規就農の促進及び企業の農業参入の支援
県内外での就農相談会の開催や青年就農給付金の活用推進により、過去1年間の新規就農者数は237名となり、農外からの新規参入者数は41名で過去最高となりました。
担い手が不足する地域における土地利用型農業を維持するため、農協等の農業団体が参画する土地利用型農業法人の設立を支援したところ、新たに2法人が設立されました。

- 多様な需要に対応できる産地改革の促進

〈主な取組〉

- ①加工・業務需要への対応力強化を目指した生産・供給体制整備に対する支援
食品企業のニーズに対応するため、かき菜の一次加工施設の整備や加工用トマトの産地拡大に必要な生産機械の導入などの支援を行いました。
- ②県産農産物の国内外への販路拡大に対する支援
「栃木県企業誘致・県産品販売推進本部」と連携し、首都圏への販路拡大を支援したところ、スカイベリーやとちおとめなどが航空会社や百貨店のカタログギフトに採用されました。
販路開拓拠点として都内で「マルシェ栃木」を開催したほか、商品づくりや商談会への出展等を支援した結果、ホテルやレストランとの取引開始など販路開拓につながりました。

【課 題】

☆本県の強みを活かした産業の振興

- 中小企業の人材育成、研究開発及び販路開拓等の支援

〈ものづくり企業の技術力や中小企業の経営力の向上への支援〉

国際競争が激化する中で、本県の強みであるものづくり産業の持続的な発展のため、技術力と競争力、経営力を高め、雇用の安定と地域の活力を維持向上させる必要があります。

☆挑戦し、成長する企業の創出

- 創業や新たな事業展開など意欲的な取組の支援

〈新たな成長産業の創出等に関する検討〉

本県経済の持続的な発展のためには、今後の成長が期待され、雇用と地域の活力を生み出す新たな産業の創出や育成を行う必要があります。

☆力強い農業の推進

- 農業内外からの人材確保や企業の参入推進
- 多様な需要に対応できる産地改革の促進

〈園芸の生産振興の強化〉

担い手の高齢化や国際競争が進む中で、農村の活力と雇用を維持拡大するため、米麦・畜産とともに、収益性の高い園芸を強化することにより、本県農業を魅力ある成長産業として発展させる必要があります。